

SDG s の視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編
特別支援学校

一般財団法人栃木県連合教育会
令和6年9月

SDGsの視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはありません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また、自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

回答結果

小学校

回答児童数 5,397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4,982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1,482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11,922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

TEL 028-621-7216

Email kenkyu@tochigi.rk.jp

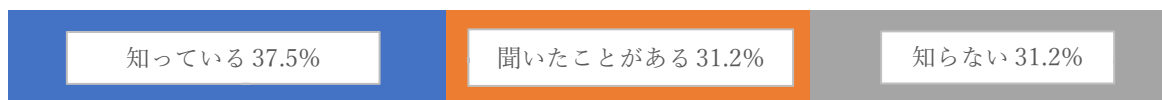
特別支援学校 児童・生徒 回答

※ 小学部・中学部・高等部いずれも学校名や学部・学年などの質問・回答は省きました。

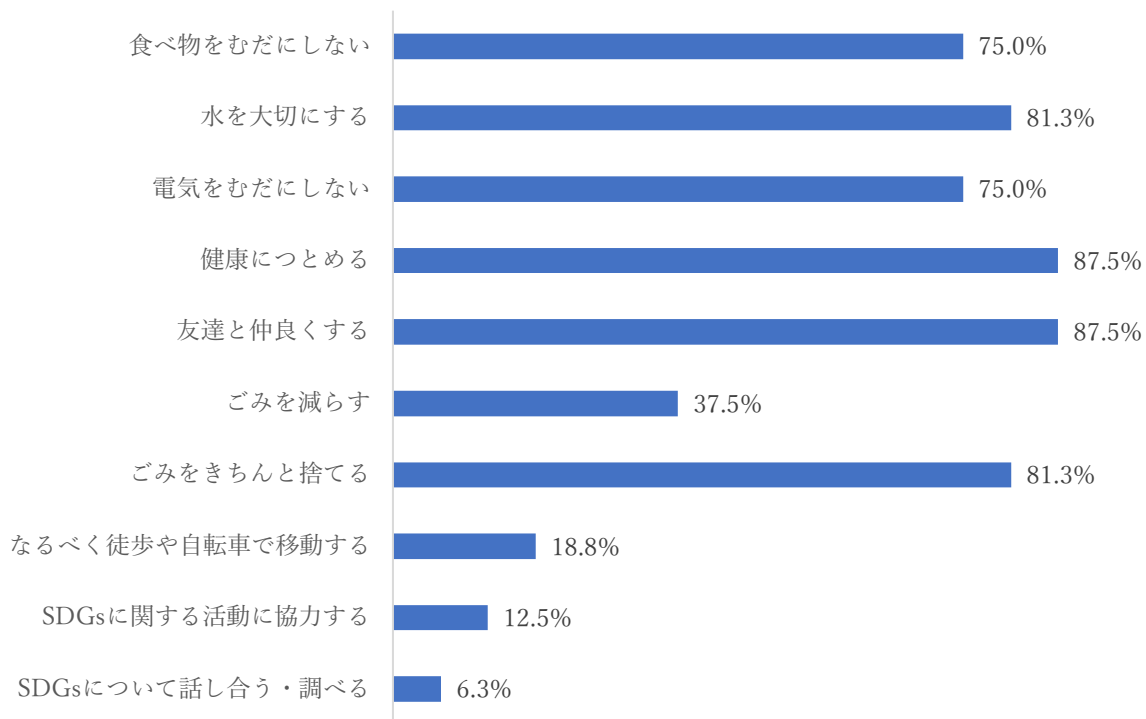
小学部

回答者 16名

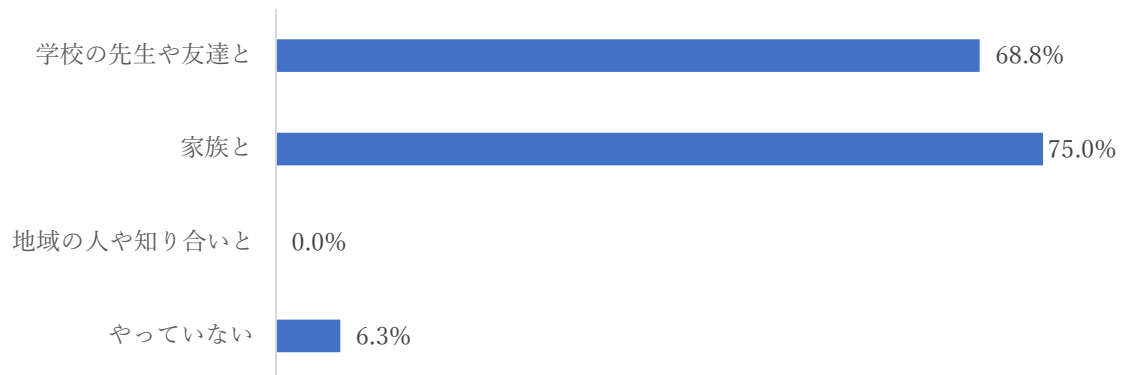
Q 4 SDGsという言葉を知っていますか。



Q 5 SDGsのとりくみで、あなたがやったことのあるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



Q 6 SDG s のとりくみは、だれとやっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。
(複数回答可)



Q 7 SDG s のとりくみをこれからも続けていこうと思いますか。



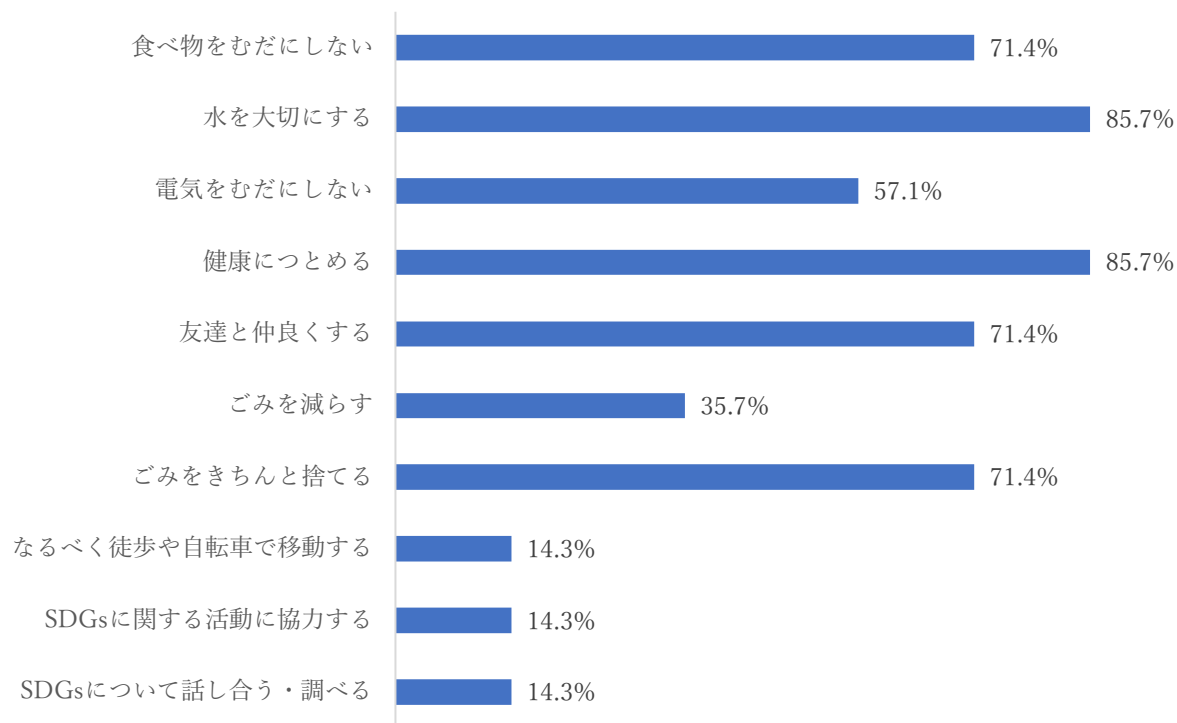
中学部

回答者 14名

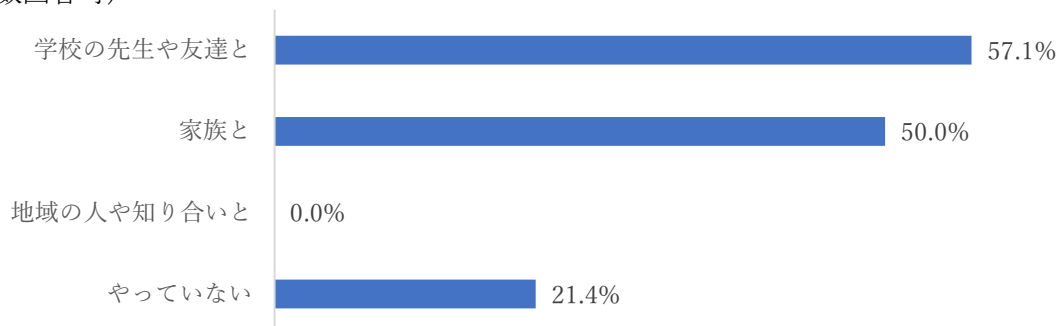
Q 2 SDGsという言葉を知っていますか。



Q 3 SDGsのとりくみで、あなたがやったことのあるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



Q 4 SDGsのとりくみは、だれとやっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

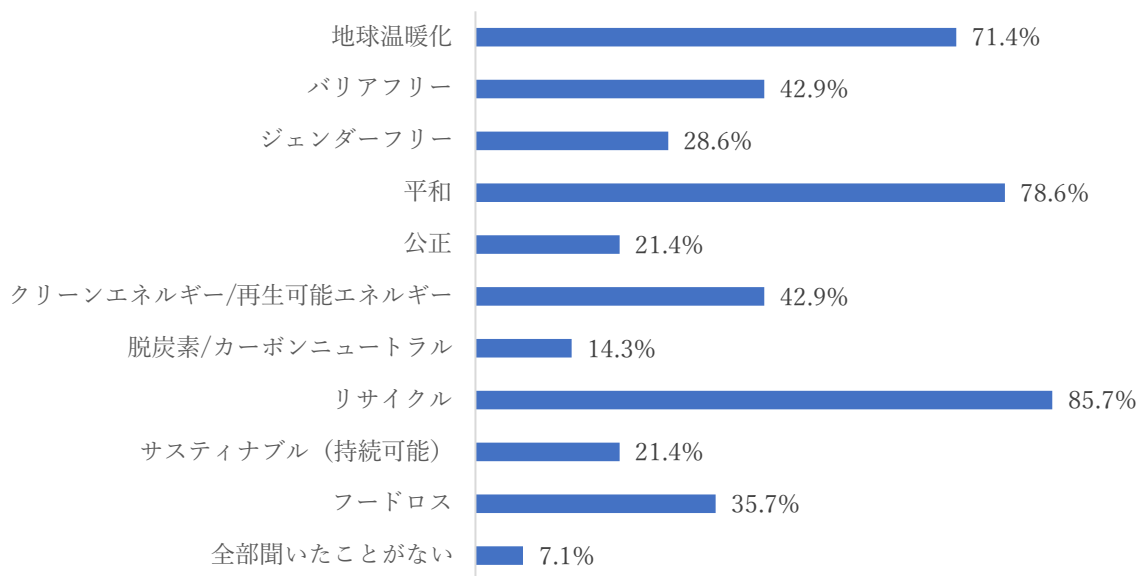
Q 5 SDGsのとりくみをこれからも続けていこうと思いますか。



Q 6 あなたは地球の未来が心配になることがありますか。



Q 7 次の言葉で聞いたことがあるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）



Q 8 今、自分が住んでいる市や町は住みやすいですか。



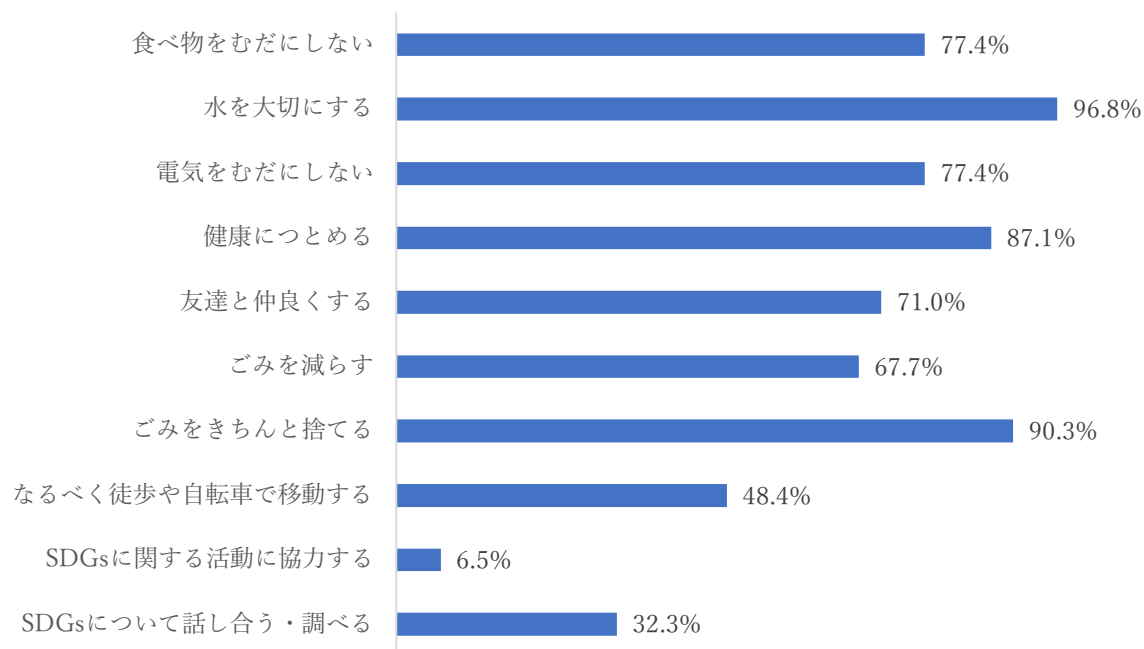
回答者 31名

高等部

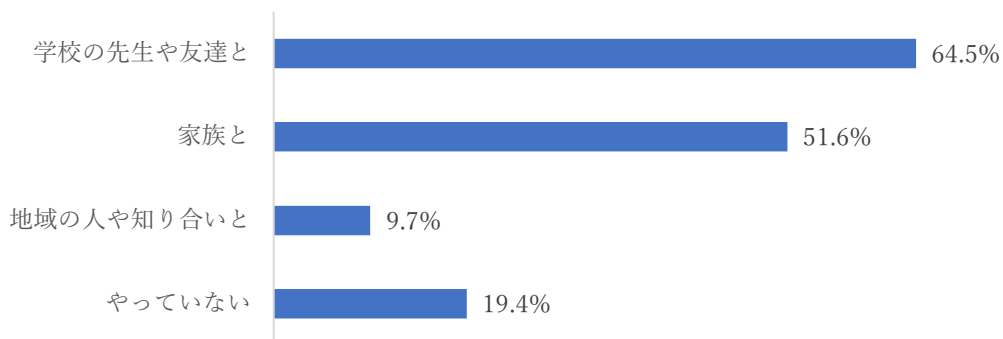
Q 2 SDG s という言葉を知っていますか。



Q 3 SDG s のとりくみで、あなたがやったことのあるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



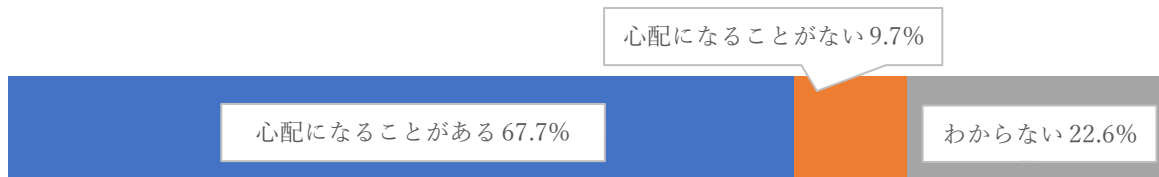
Q 4 SDG s のとりくみは、だれとやっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



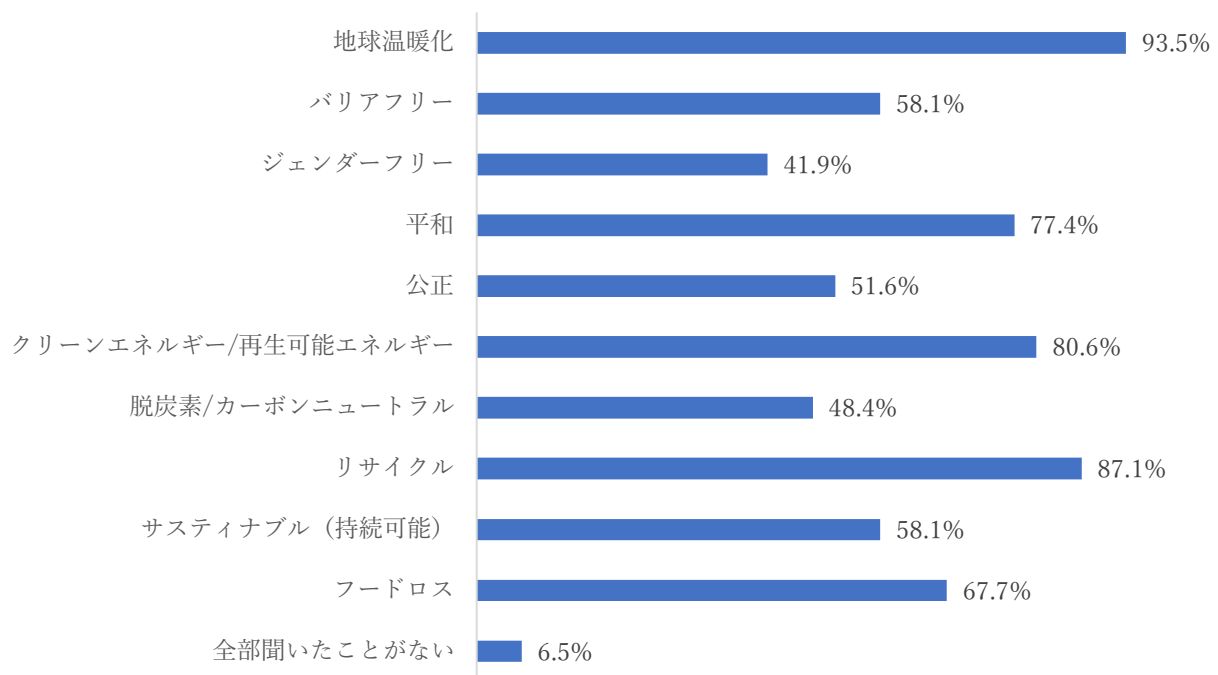
Q 5 SDG s のとりくみをこれからも続けていこうと思いますか。



Q 6 あなたは地球の未来が心配になることがありますか。

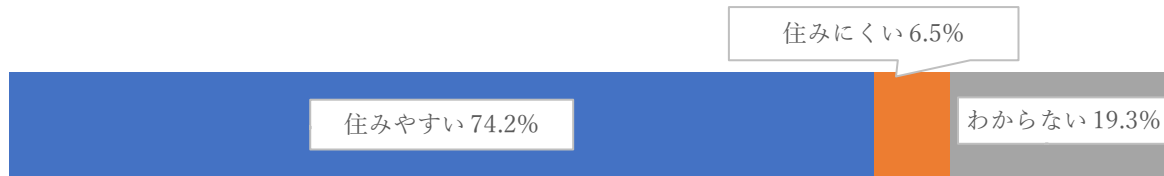


Q 7 次の言葉で聞いたことがあるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）



資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

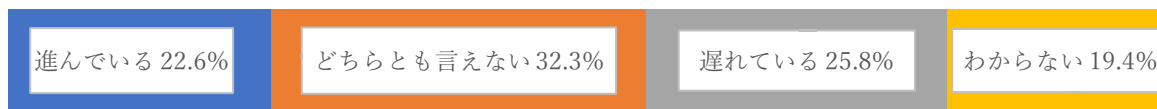
Q 8 今、自分が住んでいる市や町は住みやすいですか。



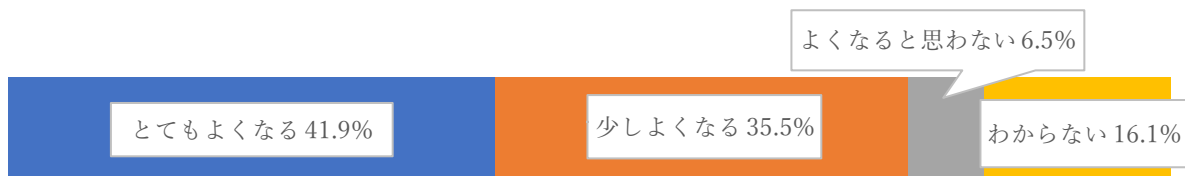
Q 9 あなたが 60 歳になった未来に、今住んでいる市や町はどうなっていると思いますか。



Q 10 日本のSDGsのとりくみは、世界の中で進んでいると思いますか。



Q 11 SDGsにとりくむことで、未来はよくなると思いますか。



特別支援学校 教員 回答

回答者 30名

Q 1 学校名をご記入ください。
回答結果は省略します。

Q 2 担当する学部を教えてください。



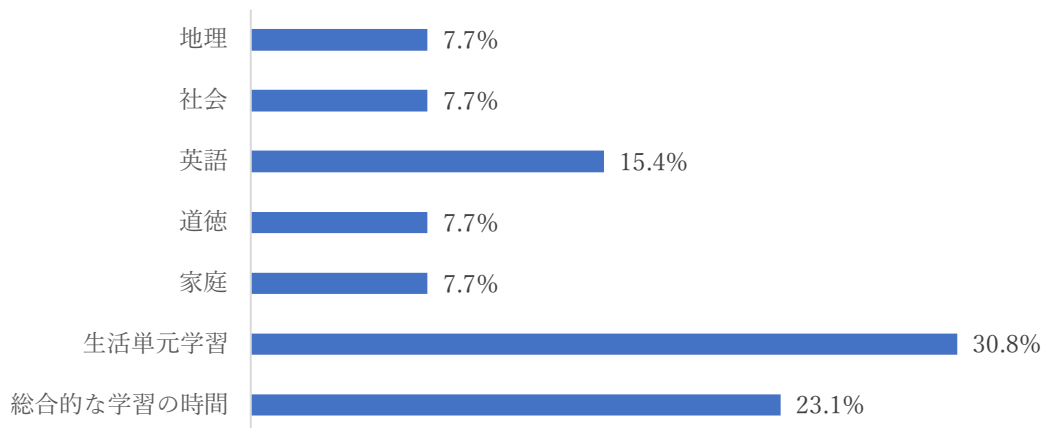
Q 3 SDGsについてどれくらいご存知ですか。



Q 4 SDGsを授業で扱っていますか。



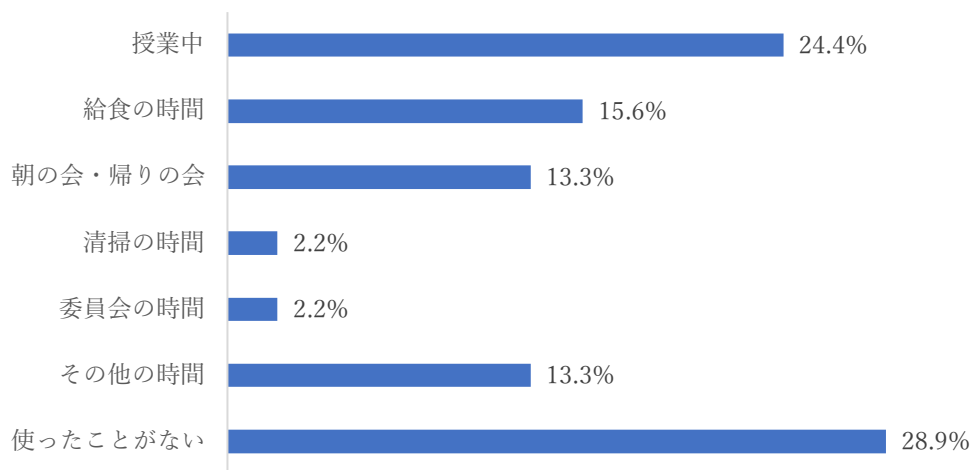
Q 5 どの教科、授業で扱っていますか。



Q 6 SDGs を授業で扱う頻度はどれくらいですか。



Q 7 学校で児童・生徒に「SDGs」という言葉を意図的に使ったことがありますか。それはどのような場面ですか。あてはまるものすべてにチェックしてください。（複数回答可）



Q 8 学校でSDGsを指導するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

[主な回答]

- ・教員の働き方改革を進め、生徒に胸を張ってSDGsの取り組みをしていると示せるようにする。その為にも古い考えにとらわれない教員の意識改革が重要。
- ・教員、児童生徒ともに、住みやすい世の中にしていこうとする意識
- ・普段からの意識づけ
- ・正しい知識
- ・自身の理解
- ・身近な実践とSDGsのつながりを伝える
- ・SDGsの内容を理解させ、日常にかかわっていることを伝える
- ・身近なこととして、生徒の生活に関連付けて扱う。
- ・自身がSDGsについて正しい知識を身に付けること。
- ・SDGsや世界の状況について教員が十分に理解しておくこと
- ・学習活動の中で、SDGsに当てはまる取り組みを実際に経験する機会を増やしていくとともに、現在の指導の中で、SDGsに該当するものを確認して指導の重要性を認識できるようにする。
- ・SDGsを授業内容に組み込むこと
- ・普段からSDGsに関する事象に遭遇したときに話題にすることが必要。そのためにSDGsの項目について教員が知っておく必要がある。
- ・日常的に取り組めるような簡単で分かりやすい事例を取り上げること。
- ・物を大切にするなど、SDGsに関する姿勢や態度を児童の前で意識的に示すこと

資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

- ・教師がSDGsについて学び理解を深め、身の回りの実践例を見つけ、児童生徒に指導や教材で伝えていくこと。
- ・教員が意識をする、意識を高めておくことが必要。
- ・学校でできる(指導できる)SDGsについて教員が理解すること
- ・SDGsの正しい知識やどうすればよいかを考えるための力が必要
- ・児童が普段行っている活動や学習の中でもSDGsが関連していることがあることを意識させること。
- ・聴覚障害に起因する語彙の不足を解消するとともに、指導者側が意識的に語句を使って行くことが必要だと思う。
- ・SDGsについて先生が知識をもつこと。
- ・教師自身がSDGsへの理解を深め、幅広い視点から指導を行えるようにする。
- ・SDGsについて知ること
- ・環境問題を知り、身近なものと結びつけて考える時間を設けること。
- ・まずは教員がSDGsについて知識を深める必要があると思います。
- ・SDGsとは何か、といった初歩的な内容からの教員向けの研修。
- ・児童・生徒へ継続的な情報提供と意識啓発のため、関係機関と連携できる体制が必要
- ・様々な教科の単元の内容自体で扱うことが必要だと思います。
- ・教員が意図的に取り上げる。誰でも取り上げることができるようにするための資料などが多数あると、実態に応じて取り上げやすいと思う。

Q9 今後SDGsをどのように取り上げ、どのように進めていきたいですか。

思いや考えがあればお書きください。

[主な回答]

- ・授業資料の見直しや電子化を図る。そのためにはパートナーシップなどが大切。小さなことも全てがSDGsに繋がっていき、地球の環境保全になることを理解し、思いやりの気持ちを育てたい。
- ・SDGsは範囲が広いので、ポイントを絞って取り上げていきたい。
- ・身近な問題として捉えられる工夫をしたいと思います。
- ・子供たち自身が主体的に考えて行動できるように、継続して取り上げていく。
- ・教師や生徒同士で話し合う。
- ・生徒に対して、自分の将来のこととして捉えてもらえるよう、進路指導と関連付けて伝えていきたい。
- ・生徒の生活に基づいている分野から取り上げ、生徒にもできることを具体的に上げていきたい。
- ・もし、SDGsについて取り上げるのなら、学校全体で行えるといいかと思います。子どもたちや教職員には、「特別なことをしなくてはいけない」と考えている人もいるかなと思います。そのことを浸透させつつ、今行っている授業や学校行事、各校務分掌部に関連したSDGsの目標(項目、分野)を関連づけていけたら、と考えています。
- ・児童にとってSDGsという用語、概念は難しいため、SDGsに当てはまる取り組みを推進することの大切さを伝えられていけたらと思います。
- ・身近な話題でないと興味関心がわかない傾向にあるので、身の回りで起こることを中心に取り上げて自分にはどうすることができるのか、という学習展開をしていきたい。
- ・動画等で児童に分かりやすいように取り上げていく。
- ・小学部だが、家庭科を受けもっているため、授業の中で触れられればと考えている。また、児童の中には、海の生物等に興味関心をもっている児童もいるため、折に触れて話ができるとうい

資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

思っている。

- ・改めてSDGsということではなく、水や電気など普段の生活でできることをその都度繰り返し伝えていこうと思います。
- ・分かりやすい言葉で分かりやすい例を挙げて取り上げていきたい。
- ・作業学習（リサイクル班）などで、自然環境や資源を守る大切さを、視覚支援を用いてわかりやすく授業で取り入れ、実践していきたいと思う。
- ・SDGsの項目はどれも大切な内容なので、いろいろな場面で話題にしていきたい。
- ・地域や社会との連携を通じて廃品リサイクルや地域清掃活動などSDGsの実践を深めていきたい。
- ・SDGsの話題をとおして、他校等と交流活動ができるとよい。
- ・生徒が自分事として、自分でできることを考え、実践できるように意識や行動の変容につなげられたら良いと思う。

Q 10 日本のSDGsの取り組みは、世界の中で進んでいると思いますか。



Q 11 上の質問で、その答えを選んだ理由についてお聞かせください。

「進んでいると思う」と答えた方

- ・教育番組等でも取り上げられているから。
- ・様々なところで話題となっているため。
- ・様々な場面で啓発資料を目にするから。
- ・情報が世界に広まり、具体的な取り組みの方法なども共有することができるようになってきているから。

「どちらとも言えない」と答えた方

- ・進んでいる分野と遅れている分野があると感じる。
- ・SDGsの取り組みへの評価が十分ではない。
- ・実際をよく知らない。
- ・意識と取り組みに個人差、地方による格差がある。
- ・SDGsの考え方・取り組みは各国によって差があると思います。それを考えると、安易に日本が進んでいる・遅れているとは言い難いのではないかと考えたからです。ただ、日本の歴史を振り返ると、物を大切に使う、再利用するという文化が江戸時代頃から（分野によっては、さらに前から）根付いていて、SDGsの考えや取り組みが今に始まったことではないと考えます。このような視点に立って考えると、どちらとも言えません。
- ・少しずつ進んでいると思うがまだ改善の余地があると思われるから理解度や取り組み方に

資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

個人差があると思う。

- ・世界と比べたことがない。
- ・近年、目にすることも、耳にすることも増えたようには感じるが、世界の中でという点で考えると、悩ましい。
- ・企業レベル、個人レベルでできることはやっているが、全体として十分にはSDGsの理解を共有できていないと感じるため。
- ・よく耳にする機会はあるが、実際の取り組みはそこまで進んでいるように思えないから
- ・SDGsのロゴマークを見かけることがあるが、自分自身も含めてSDGsを意識することがあまりないため。
- ・学校の中でも、詳しい教員が少ないと思われるため。
- ・できていない項目がある。
- ・政府主導でSDGsの実現に向けた取組をしていると思うが、他国の動向を知る機会が少ないため。
- ・進んでいるかどうか分かる情報がありません。

「遅れていると思う」と答えた方

- ・電子データで済む資料の多さ、効率化が図られないためにずっと学校で残業をする教員、税金である光熱費や設備費浪費への意識が低い。
- ・ひとりひとりの意識のなさ。
- ・他国と比較してマイバッグの浸透率が低いことなど
- ・外国と比べて、すぐに消費してしまう農作物の規格が厳しかったり、商品のきれいな包装は当たり前だから。
- ・頭では分かっているけど、実際に変えていくことには時間がかかりそう。
- ・特別支援学校において学校現場で指導するのが、難しいと思う。
- ・SDGsというワードは、ここ数年で普及してきていると思うが、その単語ばかりに注目がいって肝心の中身、例えば各項目で掲げている目標については多くの人知らない状況にある。
- ・SDGsという言葉に関して3年前に初めて聞いた。少しずつSDGsの取り組みについて学校や、飲食店、企業などで情報が発信されるようになってきたが、世界と比べるとまだ遅れていると感じる。
- ・こういった調査が必要なくらい、まだまだ考えや取り組みが浸透しているとは思えないから。

「わからない」と答えた方

- ・比べることが難しい。
- ・比較したことがないから。

Q 12 今SDGsに関する事で何かご意見があればご記入ください。

[主な回答]

- ・自分にもできる身近な行動を知り、生徒に伝えたり、授業で取り上げてみたい。
- ・特別支援学校における具体的な指導事例が共有できると良い。
- ・大切な内容なので、もっと授業等で扱えるとよい。誰でも使えるコンテンツが増えていくとよい。

特別支援学校 学校 回答

回答校 8校

※ Q 1、Q 2、Q 3 の回答は省きました。

Q 4 あなたの学校では、SDGsに関する指導について、校務分掌に位置付けられていますか。
8校の全て「位置付けられていない」と回答。

Q 5 位置付けられている分掌名をお書き下さい。
「位置付けられている」の回答校が無いため省略。

Q 6 SDGsと学校行事を関連させた取り組みを行っていますか。



Q 7 それはどのような取り組みですか。行事などでお答えください。

[主な回答]

- ・「つくる責任 つかう責任」と関連して、給食感謝の会を実施している
- ・奉仕活動
- ・修学旅行

Q 8 SDGsに関する内容をあなたの学校で扱う場合、学校として困難な点があったらお書きください。

[主な回答]

- ・重度重複の児童生徒が多く、どんなことを、どのように指導すべきであるか、検討していく必要がある。
- ・小学部から高等部までであるため、児童生徒の実態に即した活動が難しい。

Q 9 SDGsに関する内容をあなたの学校で扱ったことがある場合、学校として良かった点はどんなところかお書きください。

[主な回答]

- ・特別な時間を設定したわけではないが、係の仕事として教室を出る際に電気を消すことや水を出しっぱなしにしないことなど、生活の中で学ぶことができています。
- ・学部の行事ではあるが、植樹の際に森の大切さについて講話をいただくことで、環境を守る意識が高まった。
- ・牛乳パックのリサイクルや空き缶のリサイクルなど作業学習と関連して学ぶことができた。
- ・児童、生徒が社会の一員として生きるための、ひとつのきっかけになること。

Q 10 SDG s の内容の指導に関する取り組み全体について、ご意見がありましたらお書き下さい

[主な回答]

- ・特別支援学校で取り組んでいるSDG s の指導の状況を知り、本校でも取り入れられる部分を検討していきたい。
- ・授業への活用例について研修等があると良い各校の取組を参考にしながら、本校で実践できることを検討していきたいと考えている。
- ・先進的な取組があればそれを参考に実施したい。障害種にあった実践を知りたい。
- ・本校でも地域とのゴミ拾いや生徒会のリサイクル活動、重複障害学級におけるリサイクル関連の作業などSDG s に関連する取組は複数行われているが、SDG s の視点からの学習活動であるという教員側の意識が十分でなく、SDG s と関連させていると言えない現状がある。
- ・児童生徒の興味関心は知ることから広がっていくと思うので、まずは教員側の意識を高めることが必要であるように思う。